







**見込顧客の創出**  
BtoB企業専門のマーケティング支援  
株式会社メイテンス

Electronics Solutions Company  
**KANADEN**  
株式会社カナデン

生産設備の予知保全をIoTで効率化  
https://lp.sukkha.net/  
info@sukkha.net  
SUUKKHA

この技術が、世界を変える。  
この技術で、未来を変える。  
change the world, for the future.  
**HOKUYO**  
https://www.hokuyo-aut.co.jp/

## FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

### ■三菱電機、10月10日付でヴィスコ・テクノロジーズを子会社化

三菱電機は、10月3日付で画像処理、外観検査メーカーのヴィスコ・テクノロジーズの株式の公開買い付けが終了し、10月10日付で子会社化した。

### ■三菱電機、配電用変圧器の事業譲渡に伴う最終受注・出荷期限

三菱電機は、配電用変圧器事業を日立産機システムに譲渡したことで2026年3月末で事業を終了する。これに伴う最終受注と出荷期限を公開し、配電用変圧器全機種の受注期限は2025年6月30日、出荷期限は2026年1月16日とした。

またアフターサービスは、2026年4月から日立産機システムで実施する予定となっている。

### ■メルコモビリティソリューションズ、自動搬送ロボット安全基準の夜間適合検査に合格

メルコモビリティソリューションズは、米Cartken社が開発・提供する自動搬送ロボットの日本国内での事業展開を推進しており、同社の自動搬送ロボットが日本国内の公道走行において、ロボットデリバリー協会が制定する安全基準の夜間適合審査を受け、国内で初めて「夜間走行」審査に合格した。これにより国内の公道で昼夜を問わず多様な条件下でロボットデリバリーサービスの提供が可能となった。

### ■富士電機、富士電機技報の最新号 第97巻第2号(2024年9月)を公開

富士電機は、富士電機技報の最新号 第97巻第2号(2024年9月)を公開した。特集は「2023年度の技術成果と展望」とし、エネルギー、インダストリー、半導体、食品流通、基盤・先端技術の研究開発成果を報告している。

### ■アズビル、DX推進を促進する専門組織「デジタルそうぞう部」を新設

アズビルは、10月1日付でコーポレート部門に「デジタルそうぞう部」を新設した。



デジタルそうぞう部は、DX推進体制を強化し事業変革を加速するために、グループ内各組織と連携して、未来のあるべき姿を「想像、し、未来のあるべき姿をデジタル技術で「創造」するDX推進組織。部長には伊東忠義執

行役員常務が、副部長には安田一彦専任理事が就任した。

### ■日立、ドイツのロボットSler・ラインビルダーのMA micro automation社を買収

日立製作所は、ドイツのロボットシステムインテグレータ・ラインビルダーのMA micro automation社の買収を完了した。ロボティクス事業の中核をなすグループ会社のJR Automationが同社の運営を担い、欧州、北米、東南アジアを含むグローバルでのロボティクス事業拡大を進める。

MA micro automation社は、2003年設立で、ドイツのザンクト・レオン＝ルートに本社を置き、シンガポールとアメリカに拠点がある。約200人の従業員を擁し、メディカル分野向けの自動化装置や特殊機械に特化している。コンタクトレンズ、診断用消耗品、インスリンペン、自動注射器など、さまざまな医療機器の製造とテストシステムを取り扱っている。

### ■パナソニックHD、東急、UR都市機構、空中配送ロボットの検証実験を拡大

パナソニックホールディングスと東急、UR都市機構は、川崎市麻生区のUR虹ヶ丘団地で、郊外住宅地での空中配送ロボット技術を活用した新たな配送サービスの検証実験を行っており、10月から規模を拡大して継続実施する。

これまではUR都市機構が所有する敷地内の配送ルートだったが、10月からは川崎市の協力のもと、川崎市道を横断するルートに延伸してUR虹ヶ丘団地の団地内集会所の入口をゴールとして配送を行う。また集会所のタッチパネルから注文受付も開始する。

### ■フェニックス・コンタクト、環境配慮で製品個装箱のパッケージデザインを無地に変更

フェニックス・コンタクトは、製品の製品個装箱のパッケージデザインについて、印刷なしの無地パッケージに変更する。インクを使わないことにより、より環境に配慮した供給を持続できるようになる。変更期日は2024年10月から。現行デザインの在庫がなくなり次第、順次変更していく。

### ■オブテックス・エフエー、WEBサイト利用アンケートを実施

オブテックス・エフエーは、役立つWEBサイトを目指して、ご利用アンケートを実施中。アンケート回答者から抽選でAmazonギフトカード(Eメールタイプ)1000円分を20名にプレゼントしている。

### ■高木商会、コンテック製NVIDIA Jetson Orin搭載のDX-U2000シリーズ特別価格販売キャンペーン

高木商会は、コンテック製NVIDIA Jetson Orin搭載の産業用エッジAIコンピュータ「DX-U2000シリーズ」がお得に買える特別価格販売キャンペーンを実施

している。

1社1部門1台に限り、50台販売時点で終了となる。期間は12月26日まで。

### ■高木商会、IDEC製SNAP-IN式端子台スターキットキャンペーン 数量限定

高木商会は、IDEC製のSNAP-IN式端子台「Klippon Connect Sシリーズ」がお得に試せるスターキットを販売するキャンペーンを実施している。

スターキットには、SNAP-IN式端子台50個、アース端子台5個、エンドプレート5個、止め金具10個、ショートバー10個、端子台メーカー(2種)5本とマイナスドライバーがセットになり、SNAP-IN式標準端子台10極の組端子を5台作成できる。

### ■東洋技研、海外向けオンラインストアを開始

東洋技研は、日本以外の全世界を対象とする海外向けオンラインストアを10月24日からスタートする。

### ■ミスミ、「秋のメビー はじめてキャンペーン」を実施 初回購入者限定でギフトカード進呈

ミスミは、機械部品調達のAIプラットフォーム「meviy」について、「秋のメビー はじめてキャンペーン」を実施している。期間中、meviy、meviyマーケットプレイス、meviy2Dで初回購入したユーザーを対象に、Amazonギフトカードを1000円分、3サービスそれぞれ初回購入の場合、最大3000円分をプレゼントしている。期間は12月15日まで。

### ■エムジー、「MGTrend(エムジートレンド)」2024年10月号を発行

エムジーは、「MGTrend(エムジートレンド)」2024年10月号を発行した。

お客さま訪問記として東京都江戸川区の協立エアテックのオフィス向け床吹き出し空調の監視・制御に採用された「リモートGP(形式:RGP30)」と「Modbus-RTU対応DDC(形式:BA3-CM20)」の事例をはじめ、プロダクツレビュー「ロードセルはじめてました」などを掲載している。

### ■明電舎、インド高速鉄道1号線(ムンバイ〜アーマダバード間)向け変電機器を受注

明電舎とインド現地法人のMEIDEN T&D (INDIA) LIMITED (MTD) は、インドのラーセン・アンド・トゥープロ社(L&T社)からインド高速鉄道1号線向けの変電機器を受注した。

プロジェクトは、インド高速鉄道公社が計画するインド初の高速鉄道合計7路線のうち、ムンバイからアーマダバード間508kmを結ぶ1号線の建設工事。双日とL&T社の共同事業体が、変電・配電・架線システムの電力工事をパッケージで受注しており、明電舎とMTDは12カ所の変電所を含む、全45ポスト向け変電機器を請け負う。明電舎が切替用開閉器と配電盤を、MTDがスコット変圧器と単巻変圧器を製作する。

### ■FDK、リチウム電池の累計出荷数15億個を達成

FDKは、2024年8月に鳥取工場が開発・製造・販売するリチウム電池の累計出荷数15億個を達成した。2010年の鳥取工場の事業譲受以降、組立ラインの増設による生産能力増強、工場内再配置(第二工場棟の活用)による生産効率向上で順調に出荷数を伸ばしてきた。今後、スマート製品と情報通信量の増加に伴い、電池搭載の機器や機器への電池搭載本数増加が見込まれており、同社は2030年までに次の目標である累計出荷数20億個を目指すとしている。

## 移転オープン

### ■ワゴジャパン、2024年11月1日から北陸オフィスに移転

ワゴジャパンは、2024年11月1日から北陸オフィスを移転する。新住所は〒921-0031石川県金沢市広岡3-1-1金沢パークビル。電話番号は03-5005-2600(変更なし)。

### ■ニノテック、東京サテライト営業所を埼玉県川口市に開設

ニノテックは、埼玉県川口市に東京サテライト営業所を開設した。住所は埼玉県川口市飯塚1-2-16 BIZcomfort川口7号室。電話番号は0800-777-0003。

### ■戸上電機製作所、北陸支店を富山市内に移転

戸上電機製作所は、富山県富山市の北陸支店を10月1日から移転した。新住所は〒930-0856富山県富山市牛島町5-5インテックビル(タワー111)6階。電話番号に変更はない。

### ■NTN、ベトナム・ホーチミン支店を設立

NTNは、ベトナム・ホーチミンにNTNベトナム販売のホーチミン支店を設立した。ベトナムとASEAN地域のアフターマーケット需要の拡大を目指す。

## 動画

### ■三菱電機、Media Libraryに表示器GOT機能紹介動画を公開

三菱電機は、Media Libraryに表示器GOT機能紹介動画「『今』編集したい、を叶えるシーケンスプログラムモニター-GOT2000シリーズ」を追加した。動画では、シーケンスプログラムモニターは、GOTから接続されているシーケンサのラダープログラムをモニター・編集したり、デバイスの現在値を変更したりすることができるGOT2000シリーズのシーケンサ連携機能を紹介している。

# ボッシュ レックスロスの標準コンベア

## TS 2plus (パレット式コンベア)



コンベア上で 240kg までのアキュムレーションが可能

高い停止位置精度(±0.05mm)

パレット上での組み立て作業を可能とする高耐荷重

カタログ品のラインナップはこちらより→



製品に関するお問い合わせ先:045-605-3028

## VarioFlow plus (プラスチックチェーンコンベア)



自社製オリジナルコンベア

20年以上に渡る経験と実績

グローバルな供給網

ボッシュ・レックスロス株式会社

弊社はボッシュグループの産業機器テクノロジーを担っています。

rexroth

A Bosch Company





工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■丸一鋼管、山口県下関市の新工場建設の計画詳細

丸一鋼管と丸一ステンレス鋼管は、ステンレス鋼管事業の拡大を目的として山口県下関市にそれぞれ新工場を建設する。  
丸一ステンレス鋼管のステンレスシームレス鋼管設備の新工場は、下関本社の工場敷地内に建設し、建築面積は約1万8000平方メートル。5000トンの熱間押しプレス、熱処理炉、矯正機、酸洗設備を展開し、投資予定額は約260億円。稼働開始は2027年以降を予定している。  
丸一鋼管のステンレス溶接鋼管設備の新工場は、山口県下関市長府港町13-1と13-3を建設予定地とし、建築面積は約2万4000平方メートル。造管機3台、スリッター1台、熱処理炉、酸洗設備を導入し、約220億円を投資する。稼働開始は2027年以降を予定している。

■クボタ、大阪府枚方市の枚方製造所の反応管生産設備の溶解・鋳造設備を最新設備に更新

クボタは、枚方製造所(大阪府枚方市)の既存の反応管生産設備のうち溶解・鋳造設備を全て最新鋭の設備に置き換える。  
反応管は、石油由来原料の熱分解や改質などの工程で使用される耐熱鋳鋼製のパイプで、過酷な使用環境に応じた耐熱性や耐食性などが求められる。同社はクラッキングコイルとリフォーマーチューブを主に製造販売しており、特にクラッキングコイルはアジアを中心とする新規プラント建設や北米での既設プラントの更新などにより需要拡大が見込まれている。  
100億円を投資し、溶解設備(電気炉など)および鋳造設備などの新鋭化、工場建屋の補強を実施する。2025年着工予定(稼働開始予定2030年)。



■澁谷工業、石川県金沢市と能美市にボトリングシステムと医療機器製造の4工場を新設

澁谷工業は、ボトリングシステムと医療機器の生産工場設備の強化を図るため、PETボトル飲料用無菌充填システムの部品加工と組立を行う工場と、人工透析システムの製造を行う工場など合計4工場を建設する。  
「森本テクノパーク新工場(仮称)」は、金沢テクノパーク内で新たに取得予定の土地に、最新技術のボトリングシステムの部品加工および組立を行う工場を新設する。建設費用は91億円、延床面積は1万4986平方メートル。2025年9月着工予定。2026年12月竣工予定。  
「森本第3機械工場」と「能美第

**Fukunishi**

人・技術・情報の  
架け橋となり、  
最適解で「福」あふれる  
未来をつくる。

**福西電機株式会社**

2機械工場」は既存の敷地内にそれぞれ増設するもの。森本森本第3機械工場の建設費用は13億円。延床面積は2644平方メートル。2025年7月着工予定。2026年6月竣工予定。能美第2機械工場の建設費用は38億円。延床面積は5430平方メートル。2025年7月着工予定。2026年6月竣工予定。  
「医療機若宮工場B棟」は、2階建ての既存棟を解体し4階建ての工場を新たに建設するもの。ロボット技術の導入など自動化による生産効率の向上も併せて約50%の増産を目指す。2025年7月から着工し、2027年1月には竣工予定。建設費用は約175億円を見込んでいる。

■朝明精工、三重県桑名市多度町に等速ジョイントの新工場建設

朝明精工は、量産製造する等速ジョイント(CVJ)の構成部品が、今後、自動車の構造変化(HV化、EV化、大型化)や拡大していくことに対応するため、三重県桑名市多度町御衣野に等速ジョイントの新工場を建設する。  
新工場での自動車部品量産製造は、FA専用機械・設備設計、製造のノウハウや技術を生かした次世代向け、最新生産工程を構築し、自動化、省人化、DX化を図り、SDGsの取り組みにおいては、さらなるCO<sub>2</sub>削減を目指す。2025年10月の操業開始を目指す。

■日機装、東京都東村山市の日機装技術研究所内に新研究棟を建設

日機装は、同社の研究開発拠点である日機装技術研究所(東京都東村山市)内に、新研究棟を建設する。総工費は約124億円で、2027年5月に竣工予定。  
新研究棟では、CAEを活用しながら水素、アンモニアなどの次世代エネルギーに対応するポンプや、生産自動化、コンポジット(複合材料)などに関する研究開発を行う。  
建築面積は約4500平方メートル。延床面積は約9900平方メートル。建屋は地下1階、地上3階建て。2025年10月着工予定。2027年5月竣工予定。2027年6月稼働開始予定。



■三菱製鋼、福島県会津若松市の広田製作所で水アトマイズ生産ライン増設

三菱製鋼は、需要が拡大する特殊合金粉末の増産に対応するため、広田製作所(福島県会津若松市)内で水アトマイズラインを増設する。総投資額は約7億円、2025年末の完成を予定。  
特殊合金粉末は、特にスマートフォンや自動車などの通信・制御機器向けのインダクタに使用される軟磁性粉末は市場が大きく伸びると期待されている。生産ラインもほぼフルキャパシティとなっていることから、増産に向けた設備投資を実施する。製造能力は現在の5割増になるとともに、今後の受注増加に合わせて、さらなる設備増強も検討・計画していく予定。

■東和薬品グループ大地化成、兵庫県福崎町の本社工場に高薬理活性原薬の新棟が竣工

東和薬品グループの大地化成は、兵庫県神崎郡福崎町の本社・兵庫工場内に高薬理活性原薬製造棟を竣工

した。  
近年は抗がん剤をはじめとする高薬理活性医薬品の需要が高まっており、新棟は、高薬理活性原薬の安全かつ効率的な取り扱いを可能にし原薬製造の重要な拠点となる。  
鉄骨造2階建て。建築面積は694平方メートル。延床面積1350平方メートル。2024年10月稼働開始予定。

■イワキ、福島県田村郡三春町に新工場建設

イワキは、三春工場(福島県田村郡三春町)の敷地内に新工場を建設する。生産能力の増強、生産・物流の効率化およびサステナブルな生産体制の構築を目的として、三春工場敷地内の遊休地を活用し新工場を建設する。投資総額は、約23億円。

■生産日本社(セイニチ)、静岡県浜松市にチャック付きPE袋製造の都田新工場が竣工

生産日本社(セイニチ)は、静岡県浜松市にチャック付きPE袋「ユニパック」を製造する都田新工場が竣工した。  
新工場は、既存の都田工場の隣地に建設。人手不足に対応した省力化・自動化生産を目的とした新工場となり、将来的にはユニパック規格品の約3割が自動生産ラインで製造可能となる計画。新工場では新製品の「ユニスパウト」の製造も行う。2025年3月操業開始予定。



■守谷輸送機工業、栃木県芳賀郡に焼き付け塗装工程を担う新工場を建設

守谷輸送機工業は、宇都宮工場の増設策と生産設備の導入によるパネル製作枚数の増加に伴い、宇都宮工場の近隣の栃木県芳賀郡芳賀町に塗装工場を建設する。  
宇都宮工場で作成するパネルは現在、神奈川県まで運搬して、本社工場に新設した設備と外注先で焼付け塗装をしているが、宇都宮工場で作成するパネルの枚数が増えるため、宇都宮工場近辺に塗装工場を新設して、生産の最適化や物流効率の改善を図ることとした。  
土地面積は2229平方メートル(約674坪)。延床面積は1304平方メートル。投資額は5億3000万円。2025年6月着工。2026年5月に稼働開始。

■グローバル電子、農業用IoT機器増産で石川県金沢市のグループ会社の金沢工場を増設

グローバル電子は、子会社のグローバルマイクロニクスの子会社を増設し、スマート農業用IoT機器の生産を強化する。3年後には日本、米国、インドなどの市場に合計10億円程度販売することを目指す。  
また、石川県金沢市に農業法人グローバルファームズを設立し、石川県かほく市高松町の37アールの農地を借り受けて高級ブドウ、スイカ、サツマイモなどの生産を開始する。隣接する35アールをグローバル電子高松実験農場としてスマート農業用IoT機器を開発しており、5年後には栽培面積を5ヘクタールまで拡大し、若年農業従事者の雇用を創出し、1億円の農産物出荷を計画している。

海外

■三菱マテリアル、タイで鉱山・土木用工具の新工場を建設

三菱マテリアルの子会社MMCリョウテックは、同社が製造・販売する鉱山・土木用工具の製造体制を拡充するため、タイの製造拠点OTEC(Thailand) Co.,Ltd.に新工場を建設し、製造能力増強を図る。  
新工場は2025年10月の稼働を目指し、新たに機械加工設備や熱処理設備を導入する予定。製造能力は需要の高まりに応じて将来的に2倍まで引き上げる計画。  
新工場の敷地面積は5万4400平方メートル、延床面積は1万1900平方メートル。

■岡本工作機械製作所、タイに新工場

岡本工作機械製作所は、工作機械事業における研削盤ラインアップの多様化・高精度化に対応するため、Okamoto(Thai)タイ工場の隣接地に新工場を建設する。新工場の稼働により生産能力は約30%増加を見込む。敷地面積は2万5600平方メートル。

■帝人フロンティア、タイでコンジュゲート長繊維の生産設備を増設

帝人フロンティアは、タイでポリエステル繊維の製造・販売を展開するグループ会社、テイジン・ポリエステル(タイランド)で、コンジュゲート長繊維の需要増に対応するため生産設備を増設する。  
増設するのは紡糸関連設備のコンジュゲート長繊維用紡糸機、延伸関連設備の特殊延伸機で、2024年9月から本格生産を開始する。生産量は年間700トンの計画。  
新設備で生産したコンジュゲート長繊維は、原糸やテキスタイル、それらを使用した製品として、グループ向けを含め、国内・海外に幅広く販売していく。将来的には新開発のコンジュゲート長繊維などの生産にも活用していく。

■多摩川電子、ベトナムに新工場建設

多摩川ホールディングスグループの多摩川電子ベトナムは、移転用地として取得した工場用地に新工場を建設する。  
現在、同社は主にモバイルインフラ市場向けの製品を製造し、親会社の多摩川電子に出荷しており、今後インフラシェアリング機器のさらなる増産が求められる。これらの需要に対応するためには生産能力の拡大、すなわち生産要員の増員と、生産フロア、部品材料や製品在庫の保管スペース、および食堂や駐輪場などの従業員用共用スペースを拡張する必要があるため、人材確保が比較的容易にでき、かつ十分な広さの土地が確保できる新工業団地で新たに工場を建設する。  
敷地面積は1万2990平方メートル。延床面積は3300平方メートル。鉄筋鉄骨コンクリート造。  
**株式会社ジャストプロダクツ**

Just in your products  
**Just Products**

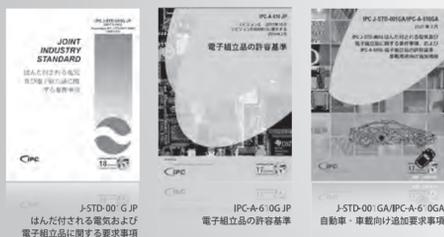
**挑戦する盤メーカーをサポートする会社**

コスト、生産性、脱炭素。  
それだけにどまらない、  
銅バー加工の外注化の  
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ



世界の製造業が採用  
IPC 品質標準規格



グローバルに通用する製品品質を備え、  
世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニクスでは  
IPCの標準規格書・情報・サービスを  
提供しています

はんだ付工程を  
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ  
ジャパンユニクス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して  
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現  
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により  
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード 『IPC』『規格』『無料』で検索

ジャパンユニクス製品 導入事例集 webにて公開 『はんだ付 導入事例』で検索